

事務事業チェックシート

事務事業No 593 事業名 スポーツ拠点づくり推進事業（U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会開催）

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	3	生涯スポーツの振興
基本方針	2	スポーツ人口の拡大と競技力の向上

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		保健体育費
	目		体育振興費
	大事業		体育振興事業
	事項		スポーツ拠点づくり推進事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H20	~ H29
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画	
担当課・担当課長 (Tel)	スポーツ振興課	高松 通博
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	財団法人地域活性化センターの助成金活用事業で、平成20年度に、「U12セーリングチャンピオンシップ全国大会」がスポーツ拠点づくり推進事業として認定されました。この事業は、小・中・高校生が参加する各種スポーツの全国大会を継続的に実施しようとする市町村とスポーツ団体の取り組みを支援することで、青少年の憧れ、目標とするスポーツごとの拠点を形成し、スポーツ振興と、地域の再生を促進することを目的とします。	スポーツ拠点づくり推進事業を継続し、和歌山市が支援、後援をしていく中で、「和歌山セーリングチャンピオンシップ実行委員会」に対し、大会が円滑に行えるよう運営経費の一部を補助金として支出しています。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会の開催	U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会の開催	U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会の開催	U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会の開催	U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会の開催

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000		4,000		4,000		
	伸び率 (%)	-	-	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	1,847	980	980	749	749		749		749	
		非常勤職員				351	351		351		351	
		小計	1,847	980	980	1,100	1,100		1,100		1,100	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000		4,000		4,000		
	一般財源 (税等)											
所要人数	常勤職員	0.25	0.13	0.13	0.10	0.10		0.1		0.1		
	非常勤職員				0.07	0.07		0.07		0.07		
主な予算内訳												

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度	年度目標値	実績値
活動指標	交付金交付件数				1	1	1	1	1
					1	1			
					100.0%	100.0%			
成果指標	参加者数				50	36	50	50	50
					72.0%	60.0%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	(一財)地域活性化センターの助成金活用事業であり、平成20年度に「U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会」がスポーツ拠点づくり推進事業として認定され、和歌山市の恵まれた自然を活かしたマリーナシティで、毎年、大会を開催していますが、全国から多くの観客や参加者が集い、和歌山の素晴らしさを全国に発信する大会となっています。
「見直し」 「改善」案	(一財)地域活性化センターの助成金活用事業で、助成期間は10年間であるため、今後、助成金が無くなった場合、市として単独で補助していくのか検討する必要がある。